



【白川郷】

Vol.22

平成27年1月発行

Contents

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 就任医師紹介
- ・ 第2回『実践！パーキンソン・ダンス ～ダンスで元気になろう!!～』
- ・ あいの認知症プロジェクト
- ・ 講座・セミナーのご案内

新年のご挨拶

すぎの まさかず
院長 杉野 正一

明けましておめでとうございます。

藍野病院は今年で創立50周年を迎えました。今年は羊の年、『羊』は『未』に通ずるとのこと。まだ未熟なところも多々ございますが、未来に向けて高齢者医療の地域中核病院として、より一層の精進を心がけていきたいと考えております。

藍野病院では、昨年1年の間にもいくつかの新しい取り組みを行いました。電子カルテシステムの導入、健診や予防医学を担う予防医療センターの発足、パーキンソン・ダンス教室の開催やパーキンソンリハビリ教育入院プログラムの立ち上げなどです。また、外来診療では、ポート造設専門外来やオープン検査としての認知症スクリーニング検査も昨年より開始致しました。

今年は、改めて足元に目を向け『診療体制の整備』に重点を置く所存です。地域の皆様や医師会の先生方の真の要望に応えられるように体制を強化し、『認知症も診られる総合病院』として地域での役割を果たせるように、職員一丸となって取り組みます。

本年もご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

就任医師紹介



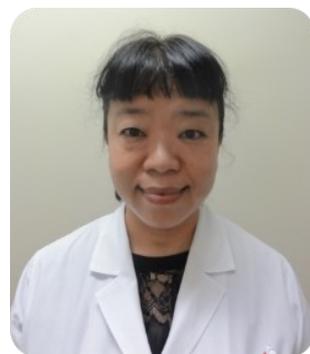
うえだ つよし
植田 毅

2014年10月より放射線科常勤医としてお世話になっております。まだまだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけしておりますが、医師はじめ、職員の皆様には、親切にいただき、大変助かっております。

今後、病院の一員として、病院ならびに職員の皆様に、少しでも貢献、還元できればと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2014年10月より、老年心身医療センター・リエゾン医療センターの常勤医として勤務させていただいています。

今までの経験を生かし、患者様、地域の皆様に少しでもお役に立てるよう、これからも精進していく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。



まつやま みやび
松山 雅

第2回『実践！パーキンソン・ダンス～ダンスで元気になろう！！～』

リハビリテーション部 作業療法科 北埜 春香

前回の広報誌「あいの」Vol.21に引き続きパーキンソン・ダンスについて詳しく紹介させていただきます。
あいの流パーキンソンダンスでは、パーキンソン病を呈した方が日常生活で困難になると言われている、視覚情報のない状況での動作、複雑な動作、無意識的動作、動作の早い切り替え、両手動作に対して、これらの要素をダンスに取り入れながら行っています。

音楽の選曲は童謡・邦楽・洋楽・盆踊りとリズムがとりやすいものであれば何でもよく、前回のダンスではレディー・ガガの曲を選曲し、好評でした。

構成は

①ウォーミングアップ

②認知機能に働きかけるダンス（切り替え動作・手指の複雑動作・両手動作）

③バランスや歩く動作を組み合わせたダンス

となっています。

①ウォーミングアップでは、運動障害によって運動不足で動きにくくなっている、筋肉や関節を暖めほぐすことを目的としています。また、タッピング（感覚刺激）を用いて、自分の身体の大きさや形状を確かめ、動きやすい身体を作るとともに、大きく身体を動かせるよう「イメージを促す言葉かけ」を行います。例えば“手を上げてください。”と言うのではなく“グーッと木が空に向かって伸びていくように”等、動作をイメージしやすいように擬態語も多く取り入れた言葉かけを行っています。

②認知機能に働きかけるダンスは、複雑で難しい動作ではありますが、イメージを促すこと、動きを分析して簡単な動作から徐々に動きを増やし組み合わせいくことや繰り返すことにより認知機能面に働きかけています。

③バランスや歩く動作を組み合わせたダンスでは、音楽に合わせて働くことや動きに合わせて視線を定める等、聴覚や視覚刺激を用いてバランスの悪さやすくみ足を等に働きかけています。



最後にパーキンソンダンスで意識することは“動きをイメージすること”“合図や自分の身体に注意を向けること”“動作を繰り返すこと”“視覚・聴覚・触覚などの手がかりを使うこと”そして何より“楽しむこと!!”です。完璧に踊れなくても大丈夫なので興味ある方はぜひ参加してください！
みんなで一緒に踊りましょう!!



11月29日（土）

大盛況だった市民公開講座でのダンス紹介の様子

年末には色々な行事が行われました。
その模様の一部をお伝えします。

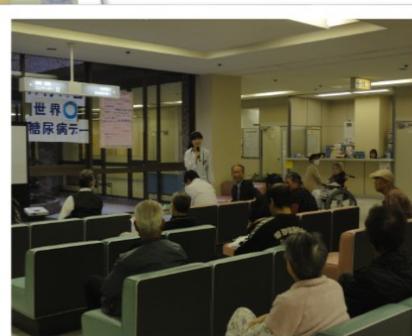
クリスマスコンサート



オープン糖尿病教室



シンメディカル糖尿病
セミナー



あいの認知症プロジェクト No6 ～家族教室～

《家族教室》

このワーキンググループは、認知症疾患を学習し家庭での対応方法や社会資源の活用方法など家族の知識の向上を図り、地域で暮らしを支援する目的で活動しています。

平成26年度の家族教室は、当院の外来通院中または入院中の患者家族様を対象として、医師・看護師・精神保健福祉士が「認知症の基礎知識」、「患者への関わり方」、「社会資源の活用」のテーマで、院内にて毎月第4金曜日の午後から約1時間程度で、講座形式で行っています。

終了後のアンケートでは、症状についての質問や、介護の相談、介護サービスに関するご意見などもいただいています。

今後は、知識を提供するのみでなく、家族同士の交流を通しての情報交換や、思いの共有、個々のニーズなどに応えていけるような場を提供していきたいと思っています。

平成27年1月～3月 講座・セミナーのご案内

1月22日(木) 学術講演会 『レビー小体型認知症の病態と治療』 18:15～21:15

場所 茨木ホテルクレスト

演者 杉野正一(藍野病院 院長 神経内科)

対象 医師

1月24日(土) 茨木市医師会 勤務医部会および病診連携懇話会 15:00～

場所 千里阪急ホテル

演者 廣瀬昂彦(藍野病院 内科医) 『パーキンソン病の「チーム医療」によるトータル治療』

対象 茨木市医療従事者

2月12日(木) 北摂RA医療セミナー 『一步掘下げた関節リウマチ』 18:00～19:45

場所 茨木セントラルホテル

演者 永井孝治(藍野病院 内科医)

対象 医療関係者

2月14日(土)・15日(日) 藍野病院・エーザイKK主催

『多職種による「見える事例検討会」ファシリテータ養成講座』

場所 藍野病院 6F 会議室

対象 医療従事者(要事前申込み)

2月15日(日) 茨木市医師会主催 『第4回ACLS大阪講習会』 11:00～18:00

場所 藍野病院 B1F リハビリ室

対象 医療関係者(要事前申込み)

2月25日(水) 高槻市人権まちづくり協会主催 ふれあいアップ講座 10:00～12:00

『もの忘れが気になったら～認知症の早期発見・早期治療～』

演者 杉野正一(藍野病院 院長 神経内科)

場所 如是公民館

対象 高槻市住民(要事前申込み)

3月11日(水) 第329回 生活習慣病研修会 『糖尿病と認知症の深い関係』 14:00～15:30

場所 ジェックス研修センター

演者 吉田麻美(藍野病院 栄養管理部部長 内科副部長)

対象 医療関係者

3月11日(水) 三島認知症エキスパートミーティング 19:00～20:30

場所 アンシェルデ・マリアージュ 3F

特別講演 杉野正一(藍野病院 院長 神経内科) 『レビー小体型認知症の多様性』

対象 医療関係者

3月14日(土) 第6回認知症ケアスタッフのための認知症講座 13:00～16:30

場所 藍野大学中央図書館(藍野病院横)

演者 (第一部) 大久保和実(市立豊中病院 認知症看護認定看護師) 『信じよう!“わ”がもたらす力』

(第二部) 谷向 知(愛媛大学大学院 教授) 『誤解の多い認知症を正しく知る!～ピック病はラブリーか? それとも厄介者か?～』

対象 医療従事者(要事前申込み)

3月28日(土) 第5回認知症イメージング研究会 16:00～

場所 ホテルグランピア大阪 20F

講演 浦上克哉(鳥取大学保健学科教授) 『認知症診療の課題～血管病変の重要性と対策～』

対象 医療関係者

TEL:072-627-7611(代)

FAX:072-627-3627

入院のご相談は「地域医療連携室」まで